

加須市教育委員会後援事業

田中正造翁没後百年顕彰記念公演



芸術文化振興基金助成事業



田中正造  
草魂

しいのちを繋げ

主催 劇団サードクォーター・劇団KAZO

## スタッフ

脚 本： 柘植 徳井  
演 出： 大神田 潔  
舞台監督： 小島 徹  
照 明： 中山 仁 (株)アートプラス)  
音 響： 権藤 まどか  
美 術： 長島 豊美  
映像制作： ほり さとし  
映像オペレーション： 益子 直矢  
舞台写真： 塩谷 茂  
書道協力： 芝崎 紫星

## 協力

柿沼 幸治  
埼玉県理容組合加須支部  
佐野市郷土博物館  
塩谷 茂  
東京衣裳  
南写真クラブ  
フジッコ株式会社 関東工場  
本多のぶ子音楽事務所  
本丸建設(株)  
ミュージカルかぞ

(50音順)

## キャスト

凡例 囲み線別に

実線囲み	破線囲み	一点鎖線囲み
劇団サードクォーター	劇団KAZO	加須市民有志



### 田中 正造 役 大神田 規允

劇団サードクォーター主宰・さいたま市在住。  
三歳より劇団日本児童に10年間所属。  
その間CM、ドラマ、舞台、映画、ナレーション等の出演は100本を超す。  
1981年栃木県教育委員企画映画「那須野が原」(共同テレビジョン制作)、全国自作視聴覚教材・郷土学習教材コンクールにおいて文部大臣賞受賞。ナレーション担当。  
～加須市での活動～  
1997年11月より劇団KAZO演技指導。  
演出：2000・2001・2002年加須市男女共同参画社会朗読劇。  
講師：2004年加須市生涯学習課主催 小学生向けワークショップ「スイミーを演じよう」・2012年加須市生涯学習課主催「市民大学演劇セミナー」



### カツ役 上原 由美

劇団KAZOが誇るバレンタインデー(2月14日)生まれのプリマドンナ。  
本職は県立高校の音楽教師。普段は授業や部活の指導でほとんど「週休0日」の多忙な生活。それでも趣味で演劇やミュージカルを鑑賞するうちにどうしても舞台に立ちたくなって劇団KAZOに入団。  
昨年11月の加須地域文化祭では宮沢賢治原作「銀河鉄道の夜」で主役のジョバンニ少年の役、一昨年は「男と間違われる女性カメラマン」の役と中性的な役が続いていたが、今回は明治・大正を生きた女性の姿を演じる。劇中では正造や佐伯とのやりとりの中に込めた微妙な感情表現に加え、40代から70代までの演じ分けに挑戦する。

草のつばやき

— 3 —

本公演のために応募して来た加須市民有志は計8名。1名は早速劇団KAZOに入団。



**古河 市兵衛 役 榎本 淳**  
1988年より都内小劇場を舞台に活動。2002年に劇団サードクォーターと出会い、その作劇手法に共鳴し出演を重ねる。本作では時代の寵児でありながら時代に呑み込まれていく古河市兵衛の内面に迫る。劇団KAZOでは「ちょうぶく山のやまんば」「夕鶴」に出演。



**佐伯 吾郎 役 ほり さとし**  
1998年から劇団KAZOに参加し、数々の作品に関わる。演出指導の大神田潔の隣にはいつも役者ほりさとしがいる。ピンチには飛び道具のように登場する。困った時のほりさとし、劇団サードクォーター創立メンバー。



**松本 園子 役 汐 優実**  
田中正造と違うやり方で闘っていた女性記者、女性ならではの闘い方などを皆様にお届けしたい。演出と役者の間を取り持つ演出助手という仕事も兼ねている。2005年より劇団サードクォーター所属。



**弁士 役 梅澤 佳津子**  
ティーンエイジャーからシンデレラ姫、教師、鬼婆、まで幅広く演じる一方で音楽活動(バンド演奏)や脚本、広報美術もこなすマルチプレイヤー。本日の舞台を成功させて9日後の誕生日(昭和天皇と同じ4月29日)を最高の気分で迎えたいと思っている。



**為子 役 彩子**  
目標は天海祐希と松嶋菜々子。20代だがKAZOではベテランの域。



**高山良夫 役 大畑吉正**  
明治座アカデミー第16期修了。地元での出演機会を求め草魂へ。



**咲 役 丸尾安世**  
「銀河鉄道の夜」カンパネラを演じた、サードクォーターの中堅。



**岡部茂作 役 花崎真理雄**  
大きな声とオーバーアクション。人呼んで「キャンプファイヤーの名優」



**治平 役 高木民雄**  
古希で役者デビュー。アマ断家黒髪亭湯楽の顔も持つ騎西の鬼才。



**昭二 役 高塚亮**  
ミュージカルかぞと二足の草鞋。主役・悪役にボケ役までこなす。



**お松 役 風かおる**  
昨秋の初舞台で演じた尼僧がハマリ役。掃除・洗濯・猫・占い好き。



**とき 役 ほか りく**  
普段はシャイ、舞台では別人。先月高校卒業。花も恥じらう18歳。



**畑田征三 役 きくちよ**  
2012加須市教委主催の演劇セミナー修了。今回が舞台初挑戦。



**山口 役 山口倫世**  
足尾の隣、日光出身。地元での公演を夢見て舞台に臨む。



**救済婦人会の女役 荒井久子**  
関西のオカンや長屋の熊さんなどクセのある役をこなす個性派。



**救済婦人会の女役ほか 樹本美咲**  
いろんな場面に登場。サードクォーターの神出鬼没女優。



**警官役ほか 古瀬弘希**  
作品の中で「生きられる」よう日々修行中!サードクォーターの新人。25歳



**谷中村運動員役 さくら**  
稽古見学だけのつもりが劇に魅せられ出演に。人生いつも初舞台。



**谷中村運動員役 中原秀**  
舞台への熱意は、谷中村を護ろうと闘った運動員にも負けない!



**谷中村運動員役 川村耕太**  
学芸会にも出なかった少年が成人して舞台に目覚めた!平成元年生



**農民役 小池和枝**  
今回の最年長出演者。喜怒哀楽の表現豊かな朗読のエキスパート。



**農民役 関繁子**  
十年前前に教会附属の劇団で巡回公演を経験。草魂で女優復活!

声の出演 勝沼 紀義 ((有)ケックコーポレーション) ・ 益子 直矢 ・ 聡美 杏

## ストーリー



晩年の正造

1887(明治17)年に足尾に銅の大鉱脈が発見されてから7年が経ち、渡良瀬川流域の農村は銅山から流れ出る鉱毒の被害に苦しんでいた。衆議院議員に当選した田中正造は、鉱毒事件を調査し、国会でも追及する。しかし、富国強兵政策のもと、銅の生産を重視する明治政府は必要な対応をなかなか取ろうとしなかった。

日清戦争勝利後の軍事予算増と金属需要の高まりの流れの中で足尾銅山は操業をやめることはなかった。それどころか、非常に低額で被害農民との示談交渉が進められようとする。そんな中、女性新聞記者の松本園子が尽力した鉱毒地救済婦人会の大演説会のチラシが予想もしなかった事態を引き起こすことになる。

最後の手段として選んだ明治天皇への直訴が失敗に終わった正造は、妻カツの助言も入れて栃木の家に戻るが、そこに正造に助けを求めて訪れて来た人々がいた。鉱毒対策として渡良瀬川遊水池を造るために村が丸ごと水没することが決まった谷中村の人々だった。

正造の人生を懸けた最後の闘いが始まる。

## 田中正造の生涯(略史)

- 1841(天保12)年、下野国安蘇郡小中村(現・栃木県佐野市小中町)で名主の家に生まれる。
- 1868年(慶応4)年、領主に政治的要求を行い、投獄。(以後、生涯を通じて何度も逮捕・投獄)
- 《幕末》大沢カツと結婚(結婚の年については諸説ある)
- 1879(明治12)年、栃木新聞(現 下野新聞)の編集長になり、紙面上で国会設立を訴える。
- 1882(明治15)年、大隈重信により立憲改進黨が結党され、入党。
- 1885(明治18)年、自由民権運動のなかで加波山事件に関与したとして逮捕される。
- 1890(明治23)年、第1回衆議院議員総選挙に栃木3区から出馬し、初当選。
- 1891(明治24)年、渡良瀬川流域の鉱毒の害を視察し、第2回衆議院議会で鉱毒問題に関する質問を行う。以後、何度も国会で鉱毒問題を取り上げる。
- 1900(明治33)年、東京へ陳情に向かう農民らが群馬県内(現・明和町川俣)で警官隊から弾圧され負傷者が出て農民多数が逮捕された(川俣事件)。この事件の後、正造は国会で憲政史上に残る大演説「亡国に至るを知らざれば之れ即ち亡国の儀につき」を行う。
- 1901(明治34)年、議員を辞職。帝国議会から帰る途中の明治天皇に日比谷で直訴を試みるが行うが警官に阻まれて失敗。政府は拘束された正造を狂人扱いして不問にし、即日釈放。
- 1904(明治37)年、栃木県会が谷中村買収を決議、貯水池とするための工事が開始。谷中村は強制廃村となるが、正造は強制破壊当日まで谷中村に住み続けて抵抗。
- 1913(大正2)年、古参の支援者らへの挨拶まわりの途上の8月2日、現・佐野市下羽田町の支援者宅で倒れ、9月4日に同所で客死。死因は胃ガンなど。享年71。

本葬参列者は数万人といわれ、遺骨は栃木・群馬・埼玉県の鉱毒被害地計6箇所に分骨された。

※ウィキペディア「田中正造」(<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%94%B0%E4%B8%AD%E6%AD%A3%E9%80%A0>)から抜粋・引用